

No.	024	—	2001	事務事業名	体育施設管理運営事務	細事務事業名		公的関与	6						
PLAN	課名	生涯学習課	係名	スポーツ振興係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp							
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし						
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 文化・スポーツの推進		主要施策	(2)スポーツ活動の充実・促進						
	事業の対象	市民及び利用者				根拠法令									
	事業の目的	最終的	市民等の健康増進、地域連帯感の醸成及び体育振興による交流を図るため、体育施設を設置し管理運営を行っています。			今年度									
	活動内容	①	体育施設の管理及び運営業務を行います。			④									
		②	民間のノウハウを活用した経費の削減及びサービス向上を図るため一部の体育施設について指定管理者制度を導入します。			⑤									
		③													
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標					
		使用料	使用料収入の年間積算		千円	目標	20,259	20,670	22,205	23,000					
				実績	20,113	21,828									
					目標										
					実績										
					目標										
					実績										
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費							
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考							
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	20,113 千円		21,828 千円		22,205 千円								
		一般財源	29,096 千円		25,614 千円		27,498 千円								
	計(A)	49,209 千円		47,442 千円		49,703 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.200 人	7,214 千円	1.146 人	7,026 千円	1.146 人	7,152 千円							
		臨時職員工数・経費	0.600 人	1,184 千円	0.695 人	1,380 千円	0.695 人	1,381 千円							
	全体事業費(A+B)	57,608 千円		55,848 千円		58,236 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	スポーツ振興係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持	
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
	必要性	新規の利用者に対して、本市体育施設を幅広く利用いただけるよう周知方法の改善を図る必要があります。また、利用の少ない昼間の利用促進や利用料金体系の検討も必要と考えられます。													
	有効性	市主催の大会をはじめ、大規模な一般大会も多く開催されており、スポーツ活動を通じた健康増進や生涯スポーツの普及と促進が図られています。													
	達成度	本市体育施設(体育館)においては、大規模な改修が終了したが、拠点施設であるツインドーム重信については、建設から20年が経過し空調設備の更新等長期的な修繕計画を立てる必要があります。													
	効率性	総合公園体育施設について、新たに指定管理者制度を導入することを決定したことで、経費の削減と施設の管理運営の効率化を図ることができました。													
	当面の課題	建設から20年が経過するツインドーム重信や土地の陥没により長年利用を停止している川内庭球場について、今後の改善計画を立てる必要があります。													
改革計画	ツインドーム重信等の体育館については、修繕等の長期的な計画を立てる必要があります。川内庭球場については、利用方針を決定するにあたり基本計画を策定します。														
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持		
二次評価での指摘事項	指定管理者制度も導入から10年以上経過し、施設の適切な維持管理ができています。市直営の他施設についても今後指定管理の可能性については検討すべきと考えます。また、各施設ともに施設の営繕経費が年々増加傾向ではありますが、きめ細かなメンテナンスにより長寿命化を目指してまいります。														

No.	024	—	2010	事務事業名	市民大運動会開催事業	細事務事業名		公的関与	8
-----	-----	---	------	-------	------------	--------	--	------	---

PLAN	課名	生涯学習課	係名	スポーツ振興係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 文化・スポーツの推進		主要施策	(2)スポーツ活動の充実・促進			
	事業の対象	市民（37分館）を対象					根拠法令	なし				
	事業の目的	最終的	市民を対象とし、健康増進と市民相互の親睦、交流を深めます。				今年度	継続して開催します。				
	活動内容	①	リレー、綱引き、玉入れなどの分館対抗種目				④	参加分館、参加者個人への参加賞の配布				
		②	防災バケツリレー等、子どもから高齢者まで広く参加できる種目				⑤	シャトルバス運行や仮設トイレ設置等のサービス				
		③	昼食、休憩時間等を活用したアトラクション、県民球団等による体験コーナー等の実施等									
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標	
		参加分館数		市内全域を対象とし、全37分館の参加を目指しています。			分館	目標	37	37	37	37
						実績	中止	32				
						目標						
						実績						

DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費		
	直接事業費			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備考					
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円	平成29年度は、運動会開催予定日に国政選挙が執行されたため、中止となりました。					
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円						
		その他特定財源		0 千円	1,100 千円	1,100 千円						
		一般財源		158 千円	1,758 千円	2,097 千円						
	計(A)		158 千円	2,858 千円	3,197 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.248 人	1,491 千円	0.248 人	1,520 千円	0.248 人	1,548 千円			
		臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円			
	全体事業費(A+B)		1,649 千円		4,378 千円		4,745 千円					

CHECK-ACTION	一次評価者	スポーツ振興係	総合評価点	D	必要性	3	有効性	3	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	現状維持	
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
	必要性	スポーツを通じた親睦と交流の機会が必要であり、市全体で交流する事業規模のものは、他になかなかありません。													
	有効性	参加者が一部の市民に限られる傾向があり、マンネリ化は避けられない部分があります。													
	達成度	参加分館数が32分館前後と、参加割合では高い方と考えますが、37分館の目標という意味では、不参加分館に参加いただけいていません。													
	効率性	有効な助成事業があるため、コスト面は適当と考えられますが、仮設トイレ、シャトルバスを含め支出の随時見直しの必要があると思われます。													
	当面の課題	高齢化等による不参加の場合や市街地でもコミュニティの希薄さ等による一部不参加があります。													
	改革計画	山間部等での合同分館による参加、各種目の人数の見直し検討、幅広い年齢層が気軽に参加できる種目取り入れの検討をしていく必要があります。													
	二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	D	必要性	3	有効性	3	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善	
	二次評価での指摘事項	山間部の不参加は少子高齢化によるものですが、都市部でも一部不参加分館があり、これらは都市化による地域コミュニティの減退と思われます。市民運動会の使命として、地域コミュニティの醸成がありますので、参加しやすい種目内容や、分館の合同参加など入り口を広くしてより多くの分館参加を求めていく必要があります。また、コストが高いとの市民からの声も考慮し、無駄を可能な限り排除した合理的な運営に努めてまいります。													

No.	024	—	2030	事務事業名	愛媛プロスポーツ応援事業	細事務事業名		公的関与	8						
PLAN	課名	生涯学習課	係名	スポーツ振興係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp							
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし						
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 文化・スポーツの推進		主要施策	(2)スポーツ活動の充実・促進						
	事業の対象	市民				根拠法令									
	事業の目的	最終的	地域のプロスポーツ発展を図るとともに応援の機運の醸成を図る。				今年度								
	活動内容	①	J2マッチシティ応援事業(愛媛FC)				④	野球教室の開催(愛媛MP)							
		②	J2マッチエリア応援事業(愛媛FC)				⑤								
		③	中予広域の日応援事業(愛媛MP)												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標				
		J 2 マッチシティ参加者	参加人数				人	目標	5,000	5,000	8,000	10,000			
					実績	1,958	2,449								
J 2 マッチエリア参加者		参加人数				人	目標	10,000	10,000	10,000	10,000				
							実績	7,117	2,545						
中予広域の日参加者	参加人数				人	目標	5,000	5,000	5,000	5,000					
						実績	588	2,088							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費					
	直接事業費			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備考								
		国・県支出金	0 千円		0 千円	0 千円									
		地方債	0 千円		0 千円	0 千円									
		その他特定財源	77 千円		79 千円	103 千円									
		一般財源	301 千円		291 千円	325 千円									
	計(A)	378 千円		370 千円	428 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.253 人	1,521 千円	0.253 人	1,551 千円	0.253 人	1,579 千円							
		臨時職員工数・経費	0.005 人	10 千円	0.005 人	10 千円	0.005 人	10 千円							
	全体事業費(A+B)	1,909 千円		1,931 千円	2,017 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	スポーツ振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	地域のプロスポーツチームを応援し、機運を盛り上げることで、地域のプロスポーツチームが発展し、地域に根差したチームへととなります。そのために、応援事業は必須であると考えます。													
	有効性	プロスポーツの試合には、数多くの来場者があり、マッチシティ等で本市をPRする絶好の機会であります。また、魅力あるイベントや優待チケットをとおして試合観戦を促すことが期待でき、有効な事業であると考えます。													
	達成度	天候に左右されることも大きいですが、入場数が目標を大きく下回ることもあります。チケットの取扱い先等について、今後改善を要する点があります。													
	効率性	愛媛県プロスポーツ地域振興協議会より事業費の半額助成を活用できることから、大きなコストをかけることなく、本市のPRとプロスポーツチーム応援の機運がある程度図れております。													
	当面の課題	入場者数が大幅に目標を下回ることがあります。													
	改 革 画	プロスポーツ選手には、人を引き寄せる大きな魅力があります。プロスポーツチームと調整しながら、試合以外にも選手と交流を図る機会を多く作ることで、応援したい(試合を観戦したい)気持ちが大きくなると考えます。													
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善		
二次評価での指摘事項	成果指標での各試合の動員人数については、事業の内容とはかけ離れている場合もあり、見直しの検討が必要です。愛媛のプロスポーツ振興への協力は重要であり、また、イベントの内容の工夫により東温市のPRにつながることも期待できるので、観光振興・産業振興の所管課とも連携して事業内容を見直していく必要があります。														

No.	024	—	2043	事務事業名	各種スポーツ大会等開催事業	細事務事業名	スポーツフェア（はつらつママさんバレーボール）開催事務	公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	---------------	--------	-----------------------------	------	---

PLAN	課名	生涯学習課	係名	スポーツ振興係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	平成 30 年度	～	平成 30 年度	
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 文化・スポーツの推進		主要施策	(2)スポーツ活動の充実・促進			
	事業の対象	市内バレーボールチーム及び一般参加者				根拠法令						
	事業の目的	最終的	多くの方にバレーボールの楽しさと一流選手のプレーを体験してもらい、競技力の向上及び競技人口の増加を図るとともに、バレーボールを通じたコミュニティの醸成やスポーツによる健康増進を目的とする。				今年度					
	活動内容	①	指導者クリニック				④	その他アトラクション等(ミニゲーム・抽選会 等)				
		②	バレーボール教室				⑤					
		③	フレンドリーマッチ(一流選手からなるドリームチームと東温市ママさんチームとの親善試合)									
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標	
		来場者数	多くの方にバレーボールの楽しさと一流選手のプレーを体験してもらうため。			人	目標		500			
			実績		500							
					目標							
					実績							
					目標							
					実績							

DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費	
	直接事業費			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備考				
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円					
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円					
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円					
		一般財源		0 千円	1,612 千円	0 千円					
		計(A)		0 千円	1,612 千円	0 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.154 人	944 千円	0.000 人	0 千円			
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.010 人	20 千円	0.000 人	0 千円			
	全体事業費(A+B)		0 千円		2,576 千円		0 千円				

CHECK・ACTION	一次評価者	スポーツ振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	統合/終期設定	
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
	必要性	世界大会やオリンピックで活躍した一流選手と触れ合い、直接指導をいただけるまたない機会であり、スポーツ振興の見地から必要なイベントである。													
	有効性	有名選手との触れ合いを通じ、バレーボール競技への熱意・関心を喚起させることができ、引いてはスポーツ人口の増加等について有効なイベントである。													
	達成度	イベント自体もおおいに盛り上がり、参加人数もほぼ目標に達することができた。													
	効率性	一般財団法人自治総合センターの宝くじ助成の採択を受ける事ができたため、市単独では難しい規模のスポーツイベントを比較的安価に実施できた。													
	当面の課題	一般財団法人自治総合センターの宝くじ助成の採択された事により実施出来た単発の事業であり、今後のスポーツ振興を図るための継続的な取り組みとなっていない。													
	改 革 計 画	同様の助成事業等の積極的な活用により、持続的なスポーツ振興施策の実施を図る。													
	二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善	
	二次評価での指摘事項	事業自体は、全額単独では実施できない内容でしたが、仮設観覧席などに多くの経費がかかった点は、誘致する事業の内容を工夫し、極力経費を安価におさえるようつとめていきたいと思ひます。													